

案件

# 公共下水道第69工区楠葉雨水貯留管整備工事等の進捗状況について

雨水整備課

## 1. 政策等の背景・目的及び効果

近年、浸水被害が多発している楠葉中央交差点やその周辺は、下水道の計画降雨を上回る集中豪雨による被害が発生していることから、これらの被害軽減に向けた対策として、平成26年度(2014年度)に楠葉排水区下水道浸水被害軽減総合計画を策定し、平成29年度(2017年度)から雨水貯留施設の整備を進めています。

雨水貯留管整備工事においては、シールド工事の停止事故によって中断していましたが、令和3年(2021年)5月からシールド工事を再開し、楠葉中央公園の立坑に到達しています。引き続き、貯留管に接続する流入管整備工事を進めていることから、現在の雨水貯留施設に係る工事等の進捗と、今後のスケジュール等について報告するものです。

## 2. 工事概要

(1) 公共下水道第69工区楠葉雨水貯留管整備工事（以下、「69工区」という。）

- ・ 主な工事内容 管きょ工（泥土圧式シールド工法、管径5,000mm）、延長約1,020m  
特殊マンホール工 2箇所、他
- ・ 契約金額 2,877,127,680円
- ・ 工期 平成30年1月11日から令和5年1月4日まで
- ・ 受注者 (株)浅沼組 大阪本店

(2) 公共下水道第70工区楠葉雨水流入管整備工事（以下、「70工区」という。）

- ・ 主な工事内容 管きょ工（泥濃式推進工法、管径2,000mm）、延長約65m  
管きょ工（泥濃式推進工法、管径1,350mm）、延長約171m、他
- ・ 契約金額 887,633,100円
- ・ 工期 平成31年3月8日から令和5年3月14日まで
- ・ 受注者 (株)福田組 大阪支店

(3) 楠葉雨水貯留管整備工事（ポンプ設備）（以下、「ポンプ設備」という。）

- ・ 主な工事内容 250mm着脱式水中ポンプ設置工 一式  
ポンプ制御盤設置工事 一式
- ・ 契 約 金 額 97,680,000円
- ・ 工 期 令和4年3月31日から令和5年1月13日まで
- ・ 受 注 者 イワキ・モリタニ電工（株）

### 3. 実施時期等 (現状と今後のスケジュール等)

#### (1) 69工区について

シールド掘進機が令和3年(2021年)10月に楠葉中央公園内の立坑に到達したことで、全体延長約1,020mのシールド工事は完了しています。現在、楠葉東公園内の発進立坑につきましてはマンホールの築造を終え、公園の復旧工事を進めています。一方、楠葉中央公園内の到達立坑につきましては、楠葉中央交差点の地下で貯留管に接続する他工事(70工区)の推進工事に遅れが生じたことから、両工事の重複を回避するため本工事を一時中止したことにより、令和5年(2023年)3月まで工期を延期するものです。併せて、受注者と協議を行い工事の一時中止に要した費用を計上するため、契約変更手続きの準備を進めています。現在は、接続工事の完了に伴い本工事を再開し、マンホールの築造を進めています。

なお、これらの変更にはシールド工事の停止事故に係る停止期間や修復費用は含んでいません。

## (2) 70工区について

現在、楠葉中央交差点の地下で貯留管φ5,000mmへ接続する流入管φ2,000mmと同交差点東側のNo.4立坑から貯留管へ接続する流入管φ1,100mmの推進工事は完了しています。今後は、No.5を推進立坑としてφ1,350mmと1,200mm、2区間の推進工事を進めます。また、11月からはNo.8付近の取水施設の築造に着手いたします。

なお、φ2,000mm推進工事において、現地の掘進地盤が想定以上に硬質であったことなどから工程に遅れが生じ、令和5年(2023年)6月まで工期延期を行うとともに、地下埋設物管理者との協議による取水施設の構造の見直しなどによる契約金額の変更手続きの準備を進めています。

## (3) ポンプ設備について

現在、水中ポンプ及びポンプ制御盤は工場製作を進めています。これらの設備は、楠葉中央公園で他工事(69工区)が築造中のマンホールに設置するものですが、このマンホール築造工程に遅れが生じていることから、令和5年(2023年)3月まで工期延期の手続きを行います。

#### (4) 工期延期に伴う暫定供用について

本事業については、これまで令和4年度(2022年度)完成に向け取り組んでまいりましたが、70工区の工期延期に伴い、令和5年(2023年)雨期に全ての工事を完成させる事が困難な状況となりました。そのため令和5年(2023年)雨期に向けた対応として、雨水貯留機能を確保するため、工事の進捗に合わせて可能な限り施設の暫定供用を行えるよう受注者から部分使用の承諾を得るとともに、一日も早い工事の完成に取り組めます。

## 4. 総合計画等における根拠・位置付け

### (1) 総合計画

基本目標：安全で、利便性の高いまち

施策目標：1. 災害に対する備えができているまち

### (2) 下水道ビジョン2022

基本方向：安全・安心な市民生活の確保

取組の方向性：浸水被害の軽減



## 5. 関係法令・条例等

下水道法

## 6. 事業費・財源及びコスト

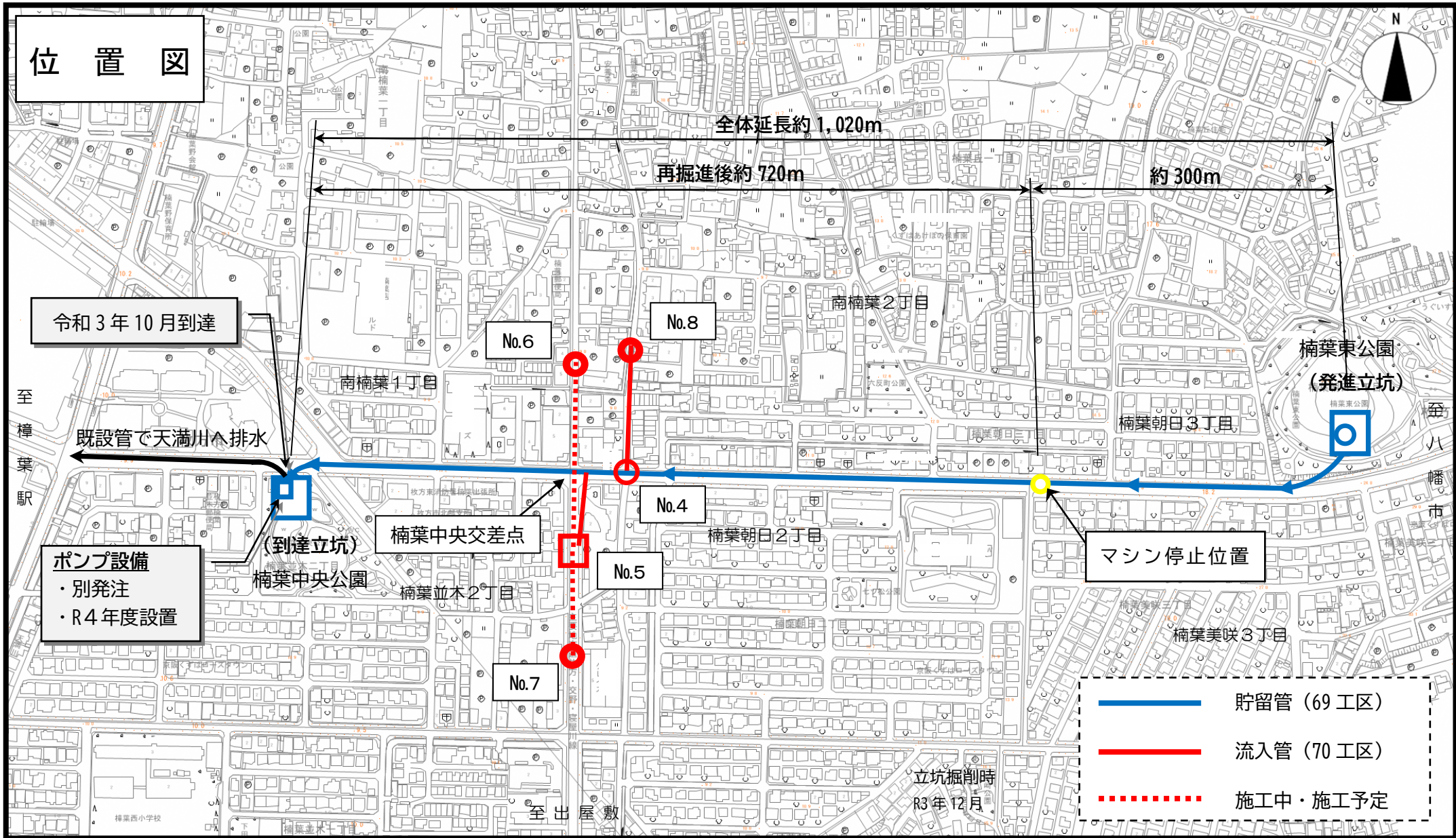
楠葉排水区下水道浸水被害軽減総合事業費

平成27年度(2015年度)～令和4年度(2022年度)：継続費

令和4年度(2022年度)予算	《事業費》	1,725,330千円
	《財源》国庫補助金	594,166千円
	一般財源	1,131,134千円

今後、令和4年度(2022年度)の執行額が確定すると共に繰越による予算措置を行う予定としております。

# 位置図





# 楠葉貯留管工事 略図

